



学びの庭

学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

性の多様性を尊重するために、私たちができることは何か？

性別は、世の中にいくつありますか？

a2つ b5つ c7つ dわからない いくつだと思いますか？近くの人と答え合わせをしてみてください。正解はdです。一般的には「男」と「女」という2つの性別がありますが、実はそれだけではありません。性には、4つの性の組み合わせで考えることができます。その4つの性は、1つめとして、体の性です。つまり、生まれつきの体の性別のことです。2つめは、こころの性です。つまり、自分が実感している性別のことで性自認と言われています。この性自認の中には、男性・女性とはっきり実感する人もいますが、男性女性の両方や男性女性の間、どちらでもないと感じる人もいます。3つめは、好きになる性です。つまり、恋愛対象とする性別のことで性的指向と言われています。この中には、男性・女性とはっきり思う人もいれば、男性女性の両方、もともと恋愛感情を持たない人もいます。4つめは、表現する性です。つまり、髪型や服装、言動で表現したい性別です。これら4つの性は、それぞれ別のものであることが大切です。男性・女性以外にも「男性と女性の両方」や「どちらでもない」、「男性だけど女性に近い」など、人によって違いがあります。そのため、性のあり方は、人の数だけあり、虹のような「グラデーション」と表現されています。最近よく耳にする「LGBTQ」とは、「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョン」など、少数派の人々を表す言葉です。「LGBTQ」の説明は、資料を読んでください。性の在り方は、多様であることから、「LGBTQ」などの一部の人の性の在り方だけをとらえるのではなく、すべての人に関わるものとしてとらえることが大切です。このような考え方を「SOGI」(ソジ)といいます。

これまでの話で、男や女だけでなく、性別を自分で選ぶ人や、性別を感じない人もいるなど、私たちが持つ性別や性のあり方が一つではなく、たくさんの形があるということ、すなわち、性の多様性がわかってもらえたかと思います。では、みんなが自分らしく生きることができる社会を作るためには、どうすればいいのでしょうか？

ここで、みんなで考えてみたいことがあります。「性の多様性を尊重するために、私たちができることは何か？」というテーマです。近くの人と以下の3つのポイントについて話し合ってみてください。(1理解を深める 2思いやりを持つ 3差別をなくす)では、2分間をお願いします。では、どのような意見や考えがあったか発表してください。〇〇さん、ありがとうございました。

では、皆さんが「性の多様性を尊重するために」、私から3つお願いがあります。

1つめは、性の多様性について理解を深めるために、さらに学んでくださいということです。知ることは差別解消につながります。友達や家族と話し合ったり、調べたりして、いろいろな考え方を知りましょう。

2つめは、性に悩んでいる人に対して、思いやりを持てるよう、寄りそう態度を心がけてくださいということです。自分の周りに「LGBTQ」などの人がいないと感じている人もいますが、本人が言えない・言わないこともあるため、見えてないだけかもしれません。もし、誰かに「カミングアウト」という自分の性の在り方を打ち明けられたら、それは相手に信頼されている証拠です。話してくれた気持ちを受け止めて、しっかりと耳を傾けて、理解しようとする姿勢を表してください。ここで注意してほしいのは、「アウトティング」(他の人の性の在り方を勝手に別の人に伝えること)は、重大な人権侵害となるため、絶対にしてはいけません。必ず「自分以外に誰に話しているのか」「誰なら伝えていいのか」カミングアウトしてくれた本人の意思を確認してください。

3つめは、性に関する偏見や差別をなくすために、自分自身の言動を見直してくださいということです。「ホモ」や「オカマ」、「オネエ」などを使った差別発言があったり、からかいで使われていたりしたのを見かけたら、「そういうのは冗談でもよくないよ」などと伝えてください。また、カミングアウトされたら、「自分らしさがあっていいよね」など、性の在り方を肯定できる言葉がけをしてください。細かいことですが、「好きな男子いる？」ではなく、「好きな人いる？」という言い換えも性の在り方に配慮していて、素敵な言葉だと思います。

性の多様性を尊重した社会づくりに向けて、令和4年6月の埼玉県議会において、「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が成立し、施行されました。これは、埼玉県の法律であり、私たちが守るべきルールです。この条例の中には、「差別的取り扱い等の禁止」や「県民の責務」、「性の多様性への配慮」等が記されています。

私たちの周りには、さまざまな性のあり方が存在しています。自分とは違う性の在り方をお互いに認め合い、「一人一人違って当たり前」と理解していくことで、全ての人安心して学校生活を送れるようにしていきましょう。そして、私たち一人一人の行動で、みんなが自分らしく生きられる社会につなげていきましょう。

最後に、お願いがあります。日がさらに短くなり、暗くなる時刻が早まっています。11月1日より道路交通法が改正され、自転車に対する罰則も強化されました。一時停止やヘルメットの着用、並走禁止など交通ルールを守って、安全に自転車を運転してください。自分の命は自分で守り、命を大切にしてください。

寄居中学校 学力向上に向けて

埼玉県学力・学習状況調査の分析と対策

1、埼玉県学力・学習状況調査 結果

【正答率】埼玉県を100としたときの本校の相対値

	中1		中2			中3		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
埼玉県	100	100	100	100	100	100	100	100
寄居町	93.2	103.0	88.1	86.3	86.0	94.3	92.3	92.3
本校	89.2	95.7	95.2	91.0	94.2	97.1	97.6	92.7

【学力の伸び】埼玉県を100としたときの本校の相対値

	中1		中2			中3		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
埼玉県	100	100	100	100		100	100	100
寄居町	119.4	114.7	99.2	104.8		118.7	92.7	105.0
本校	126.4	107.2	95.5	104.0		120.0	91.9	108.3

2、分析と対策

◇自校の強み◇

学力の伸びについては、中1国語、中3国語では県比120以上の伸びが見られた。1年生では語彙・文法事項に関する内容に顕著な伸びが見られる。小学校での基礎基本の徹底が成果として見られる。小中一貫教育の現れと評価している。また3年生では古典に関する内容に顕著な伸びが見られる。2年次での反復学習が結果となって現れている。中1数学・中2数学でも県比105以上の伸びが見られた。1年生は四則混合計算・図形に関して伸びが顕著であった。2年生は基本計算やグラフの読み取りに伸びが見られ、ICTや個別の課題などを活用した効果的な取り組みが結果に現れている。

◆自校の課題◆

全校として学力の伸びが見られるものの、特に中位層の伸びが緩やかである。全校として「努力調整方略」が昨年度比マイナスであり、学習への動機付けに課題がある。県比大幅マイナス値の項目は、【国語】作文問題や言葉の単位に関する問題・【数学】文章題や確率に関する問題・【英語】正しい語順に関する問題となっている。

◎自校の課題を克服するための今後の具体的な方策◎

- ・【国語】根拠を明確にした叙述の方法を具体的に示したり、文法事項の指導の工夫改善を行う。
- ・【数学】文章題の読み取りから図示したり、グラフ化したりと思考を表現できる機会を設ける。
- ・【英語】語順は基本的な文法事項が大切であり、既習事項の反復学習、帯単元での取組を取り扱う。
- ・【全体】反転学習を基本とした「学び合い」をどの単元にも導入し、自分事として積極的に学習に参画できるようにし、「苦手」などの感情のコントロールを克服できるようにする。また、毎月の全校朝会の校長講話でも「学び合い」を取り入れ、授業での定着の推進を継続する。

12月行事予定

日	曜日	行事(12月)
1	日	北辰テスト
2	月	職員会議
3	火	全校朝会 後期人権週間
4	水	生徒朝会 総合学習校内発表会
5	木	資源回収事前指導 交通安全指導
6	金	学年会
7	土	第2回資源回収 より・E土曜塾(午後)
8	日	
9	月	調査書等作成委員会
10	火	道徳講演会(町内一斉)
11	水	支援担当学校訪問(全学年午前授業・給食あり)
12	木	生徒会の日
13	金	新入生説明会・部活動見学
14	土	より・E土曜塾
15	日	
16	月	職員研修
17	火	薬物乱用防止教室
18	水	期末短縮 2年スキー教室説明会
19	木	期末短縮
20	金	期末短縮 給食最終 安全点検日
21	土	より・E土曜塾
22	日	
23	月	期末短縮 給食なし 3年通知書配付
24	火	2学期終業式 職員会議(予備)
25	水	3年私立高校用調査書配布
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	学校閉庁日(部活動中止)
30	月	学校閉庁日(部活動中止)
31	火	学校閉庁日(部活動中止)
行事(1月)		
1	水	学校閉庁日(部活動中止)
2	木	学校閉庁日(部活動中止)
3	金	学校閉庁日(部活動中止)
4	土	
5	日	より・E土曜塾
6	月	
7	火	
8	水	3学期始業式 職員会議 時間割C週
9	木	給食開始 全学年実力テスト 避難訓練 PTA交通安全指導

冬季休業日

【自ら学ぶ生徒】になるために

(1) 目標

- ①テスト正答率 50%以上→70%以上
- ②中学3年生英検3級以上習得 50%以上

(2) 目標を達成するための対策

- 2往復以上のコミュニケーションの学び合い
- 反転学習のある家庭学習

c 長期休業中のタブレットを活用した家庭学習

d 学力向上をテーマとした学級会

e 寄居町教育委員会の取組に参加

(例: よりE土曜塾、よりE英語塾、町費による無償化英検受検等)

f 新聞を活用した週に1度の朝学習

g 一斉総合で行う「寄居ふるさと探究学」

